

タイ語コーパス TNC を利用したタイ語使役分析

工藤美奈子^{†1} 陸嘉良^{†1} 鈴木一徳^{†1} 平川八尋^{†1}

概要：タイ語には3種類の使役表現 (hay, tham, thamhay) がある。その中でも, tham 使役文は, 文(節)がマイナス表現に限られるという制約がある。本発表は, タイ語コーパスを利用し tham 使役文と共起する動詞を分類することで, tham 使役文が実際どのような動詞と共起し, またマイナス表現をもたらすのかを調査する。

キーワード：タイ語, tham 使役文, 感情動詞, 制約, マイナス評価

1. はじめに

タイ語には3種類の使役表現 (hay, tham, thamhay) があると言われている [1], [2]。その中の, tham 使役文は, 他の使役表現より制約が多いと言われている。そのため, タイ語の使役に関する研究は hay 使役文と thamhay 使役文の研究が多く見られる [3], [4], [5]。tham 使役文の特徴は, 主文の主語は有生名詞で, 補文の主語は無生名詞, または意志がない有生名詞のみに限れると言える。tham 使役文は主語には意図がないが, 結果をもたらしたという「直接関与」を表すといえ, 文(節)がマイナス表現に限られるという制約がある。本発表は, コーパス TNC を利用し tham 使役文と共起する動詞を分類し, なぜマイナス表現をもたらすのか, 意味機能に焦点を当てて体系的に考察する。具体的には, tham 使役文の特徴を示す「感情動詞」に着目, 特に頻出度上位5つ (泣く, 怒る, 驚く, 喜ぶ, 笑う) を取り上げ, 比較する。更に, 感情動詞と共起する thamhay の用例も抽出し, 共起する動詞を比較する。

2. 先行研究

2.1 tham 使役文の文法構造

tham 使役文の基本語順は, (1) が示すように「NP1 + tham + NP2+ VP」の形式をとり, 「使役者-使役動詞-被使役者-述語」という順となる。thamhay 使役文も同じ構造をとる。

(1) chan tham noong roonghay
私は させる 妹 泣く [2]
私は妹をなかせた

2.2 先行研究

坂本 (1980) では, tham 使役文は補文の文意が「マイナス評価」にならなければならないと述べている。パンチンマニー (2000) では, tham 使役文の日本語訳は『「NP1 が不注意によって補文内容を実現させてしまった」というようなニュアンスが生じる』と述べている。さらに, 補文内の動詞は無意志の自動詞に限られ, その意味上の主語は,

「無生名詞」または「意志を持たない有生名詞」に限られると述べている。

3. 研究対象と使用コーパス方法

3.1 TNC による調査

tham 使役文の実例の使用例をもとに, 事象の特徴を探る。比較対象のため, 感情動詞を多く共起する thamhay 使役文も抽出した。調査には, チュラロンコン大学言語学部によるタイ語コーパス “Thai National Corpus” (以下, TNC) を使用する。TNC は, “British National Corpus” の構成を基に開発され, 2009 年からインターネット上で一般に公開されている。TNC のホームページに記載されている情報には, その総語数は, 約 3300 万語で, タイ語コーパスの中では最大のものである¹。

コーパスは各種ジャンル (フィクション, 新聞, 法律, 学術, 学術以外, 音楽) に分かれており, 指定して検索することができる。本稿では, 感情動詞を取り上げるため, 多く感情に関するデータがあると予測される「FICTION」を選び, 提示されている検索結果の用例を抽出した。検索方法は以下の通りである。

- 1) 検索のキーワードを「ทำ」または「ทำให้」を入力する。
- 2) Collocation の検索で「*」と入力し, L を 0, R を 3 と設定する。

データをもとに, 使役文の文法構造である「tham + noun + 感情動詞」の例を抽出した。tham は, 「動きを表す名詞」と接続し動詞を作る。例えば, 日本語で tham + ngaan は「仕事+する (仕事をする)」という意味になり, 使役文ではないため除外した。コーパスから出た結果から不適切な文を除き, 更にタイ語母語話者により使役文として適格かどうかを判断してもらった。

3.2 インフォーマント調査

インフォーマント調査ではバンコク出身の成人女性2名に協力いただいた。

^{†1} 東京工業大学
Tokyo Institute of Technology.

¹ <http://www.arts.chula.ac.th/ling/tnc/searchtnc/>
2019年7月8日参照

4. 結果

コーパスで検索した結果、「tham」と「泣く」が共起する使役文は7だったのに対し「tham」と「怒る」が共起する使役文は4つであった。「tham」と「驚く」が共起する使役文は7。「tham」と「喜ぶ」が共起する使役文は0であった。「tham」と「笑う」が共起する使役文は0だった。

thamhay 使役文は、tham 使役と比べると、多く用例が見つかった。「thamhay」と「笑う」の用例が一番多く(108用例)。以下に抽出された、サンプルを提示する。

(2) ฉันทำผู้ชายร้องไห้ (用例 7)

chan tham phuchai roonhay
私は男の人を泣かせた。

(3) จะไม่ทำเราโกรธ (用例 4)

ca mai tham raw kroot
私たちを怒らせない。

(4) เสียงเคาะประตูดังขึ้นทำฉันตกใจ (用例 7)

Siyang kho pratu dang khun tham chan tokcai
ドアを叩く音が私を驚かせた。

(5) ผมทำให้เธอร้องไห้ (用例 26)

Phom thamhay thee roonghay
僕は彼女を泣かせた。

(6) คุณเริ่มจะทำให้ผมโกรธจริงๆ (用例 61)

khun reim ca thamhai phom kroot cing
あなたは本当に僕を怒らせ始める。

(7) นายยังคงทำให้ฉันตกใจ (用例 62)

nay yang khng thamhay chan tokcai
おそらくまだ私を驚かせるだろう。

(8) ฉันที่ทำให้ฉันดีใจที่สุดคือ (用例 23)

chan thi thamhay dichan deecai thisud khuo
私は私を一番喜ばせる人です。

(9) อย่าทำให้ฉันหัวเราะ (用例 108)

yaa thamhay chan huaro
私を笑わせるな。

5. 考察

データから次のことが読み取れる。tham は単独では「する」や「作る」という意味を持つため用例数は多いが、使役文としては、制約が多いためか、少なかった。一番注目したいのが、「喜ぶ」と「笑う」の用例数がゼロだったこと

である。この結果から、ネガティブではない動詞とは共起しない。言い換えると、ネガティブの動詞としか共起しないということが言える。先行研究に「tham 使役文は文(節)がマイナス表現に限られる」とあるように、動詞が文意のマイナス評価にも関わっていることが分かった。

thamhay 使役文はマイナス評価というような制約はないため、今回調べた5つの感情動詞と共起していた。特に『笑う』との用例数が多く、tham 使役文と対照的であった。先行研究の用例での、「NP1 が不注意によって補文内容を実現させてしまった」という類例は、実際にはあまり使用しない機会がないためか少ないと言える。

6. おわりに

TNC を使った用例データにより、「tham 使役文は、ネガティブの動詞と共起する」と言えるだろう。tham を感情動詞5つ取り上げ分析したが、tham は「泣くこと、怒ること、驚くこと」というネガティブな動詞の名詞との共起が多く見られた。「喜ぶこと」「笑うこと」のようにポジティブな表現と共起する用例は見つからなかった。

日常において使役文は使用頻度が少ない。また、データの観点からはネガティブな使役文と断言するにはまだ揺れが観察される。今後他の動詞との共起から tham 動詞を再度分類し、マイナス評価をもたらす要因を含め考えていくことが必要とされる。

謝辞 本研究は、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院の山元啓史教授に熱心にご指導をいただきました。深く感謝いたします。執筆にあたり、滝口恵美さん、chariya prapobratanakul さん、Griffen Schwiesow さんにも協力いただきました。本当にありがとうございました。

参考文献

- [1] 坂本比奈子. タイ語の動詞の下位分類について. アジア・アフリカ言語文化研究 30, 1985, pp. 177-192.
- [2] バンチョンマニー, プッサパー. 動詞の意志生について: タイ語・日本語の対照研究をめざして, 東京外国語大学博士論文. 1999.
- [3] 高橋清子. タイ語における他動性と使役性. 西光義弘, プラシヤント・パルデシ (編)『自動詞・他動詞の対照』, 2010, pp. 91-142. くろしお出版.
- [4] 斉藤智恵実. タイ語の使役表現 ―hay, thamhay を中心に―, 言: 東京外国語大学記述言語学論集, 東京外国語大学地域文化研究科・外国語学部記述言語学研究室. 2011.
- [5] 田中寛. タイ語の目的表現をめぐって―目的と結果の意味的構造成―, 言語と文化 5 巻, 11992, pp. 81-120